

---

# 神の器

雪風

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

神の器

### 【Nコード】

N3775BA

### 【作者名】

雪風

### 【あらすじ】

鈍足更新な為、あんまり更新を期待しないでください。

現代      とある街に平凡な人生を歩んでいる少女が居た。高校に入り、変わらない日常が。だが、夏休み前に誕生日を迎え、兄妹に勧められてホームステイを進められる。ホームステイ前日、家である事件に巻き込まれて

## とある屋敷にいる青年の話（前書き）

オリジナルは初挑戦です。

かなり下手なので読んでいただけると助かります。

誤字などがありましたら連絡ください。

## とある屋敷にいる青年の話

憂鬱だ。とても憂鬱だ。

この紛らわしい世界は、なぜこんなに憂鬱なのだ。

大臣達は、嫁を娶れと言っし。

分かってくれるのは、アイツだけだ。

そういえば、神界国で女神の器を呼ぶ儀式をやってるらしいて、影から聞いたが……

ぐらだねエ。

何が、器だ。そんな物になるヤツが哀れだ。

何、感傷的になってるんだ。俺。

何のために、休みを取ったのか分からない。

ん？

なんだ、騒がしい。

「此処、どこ！？どうなってるの」

チツ、侵入者か。いままで何故気付かなかった？

「ここ、日本じゃない」

“ニホン”とはなんだ？この声、女か？しょうがない、テラスに出してみるか……。

「こんな屋敷、どっかの金持ちしかない。うん、そう。絶対そう」

青年が出てみれば、庭を花を見ながら頷いている少女がいた。見たことがない服を着ていた。太陽でポニールの黒い髪が光る。ポニールの黒髪の少女は、土足で此処に踏み込んだらしい。

なんだ、あの小娘は。しかし、珍しい。黒髪の間人などこの世界にあまりいないぞ……。

「……あれ、此処の人？」

考え事にふけていると少女がこちらを見上げていた。青年は、あ  
ることに気付いた。少女の目だ。ルビーのような赤い瞳をしていた。  
青年は改めて姿を見た。そして、誰もが凍えてしまうような声で聞  
いた。

「お前は、何者だ？」

クリトカル大陸、ギリガドル帝国皇帝陛下。

大陸で最も強い軍事力を持つ国の最高責任者。

そして、最強の魔術師。

それが、青年の立ち位置である

## とある屋敷にいる青年の話（後書き）

読んできたありがとうございます。

短いでしたがどうだったでしょうか？

感想などありましたら、ドンドン書いてください。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3775ba/>

---

神の器

2012年1月9日21時58分発行